

I 沿革

明治15.10.18	創立
19.10.1	鳥取県尋常師範学校附属小学校として鳥取市東町81番地に開校
昭和23.4.27	附属小学校懇話会（PTA）を結成
24.4.1	鳥取大学鳥取師範学校附属小学校と改称
26.4.1	鳥取大学学芸学部附属小学校と改称、学年が2学級に
37.4.1	障害児学級を開設、児童9名入級
41.4.1	鳥取大学教育学部附属小学校と改称
42.12.15	創立80周年記念事業、校歌制定
52.2.8	5年スキー学習「雪の学校」開始（大山桝水高原1泊2日）
53.4.1	附属養護学校新設に伴い障害児学級分離
54.5.4	全校遠足「砂の学校」開始（鳥取砂丘）
59.2.21	「雪の学校」を氷ノ山で実施（2泊3日）
60.8.22	新校舎完成、鳥取市湖山町南4丁目101番地に移転
61.11.5	創立百周年記念式典、校歌碑除幕式
62.3.25	創立百周年記念誌「附属小学校教育百年史」発刊
平成元.10.11	4年宿泊学習「森の学校」開始
2.3.26	屋外教育活動施設「尚徳の森」整備
8.5.10	韓国江原道春川教育大学校附設初等学校との姉妹校交流開始
9.8.22	春川教育大学校附設初等学校との姉妹校締結式（春川市）
10.4.1	英会話学習の導入
11.4.1	鳥取大学教育地域科学部附属小学校と改称
12.3.31	パソコン40台購入
14.7.27	親善大使50名訪韓、春川教育大学校附設初等学校と交流
14.9.	正門に警備員配置
15.7.21	春川教育大学校附設初等学校より親善大使83名来日
15.12.24	鳥取大学と春川教育大学校と学術交流協定締結
16.3.31	屋外モニュメント「OPEN SPACE」を移設、記念式
16.4.1	鳥取大学附属小学校と改称
16.7.22	親善大使75名訪韓、春川教育大学校附設初等学校と交流
17.7.27	春川教育大学校附設初等学校より親善大使64名来日 第10回交流記念植樹
18.7.21	親善大使44名訪韓、春川教育大学校附設初等学校と交流
19.3.25	創立120周年記念誌刊行
19.4.1	「尚徳の森」リニューアル
20.7.17	親善大使訪韓中止（図画作品の交換等による交流は継続）

鳥取大学附属小学校校歌

久利 溪子 作詞
中田 喜直 作曲

一、
城山におおぐ緑よ
たくましくみんななかよく
のびて行く明るい希望
われらゆたかに
地をみたす塩となれ
塩となれ

二、
荒波の砂丘はるか
健やかにみんな楽しく
むねを張りほこりも高く
われら海のごと
おおらかな器となれ
器となれ

三、
尚徳の花の香におう
まなびやにみんな優しく
手をつなぎいのちかがやけ
われらたゆまず
考える輩となれ
輩となれ

II 学校経営

1 理念

児童の教育を行うにあたり、大学、学部と連携しながら小学校教育の理論及び実践に関する研究ならびにその検証をおこない、先導的な小学校教育活動を目指す。あわせて学生の実習の機会や研究のフィールドを提供する場としての機能を果たす。また、他附属学校園相互との連携を深め、幼小中一貫教育のあり方を更に検討するとともに、教員のこれまで以上の資質向上を図る。

2 性格と任務

- (1) 学校教育法に規定された「初等普通教育」を施す。
- (2) 鳥取大学の教育研究に協力する任務を持つ。
- (3) 大学附属という独自の立場で実践研究を進め、先導的な試行によって新たな教育実践の開発・普及、さらに人材育成に努め、地域の教育に貢献する。
- (4) 鳥取大学生の実習の場を提供するとともに、その指導にあたり、すぐれた教員養成に積極的に参画することにより大学教育の一環を担う。

3 教育目標

- (1) 確かな学力を持つと同時に、創造性豊かな感性を持つ児童の育成に努める。
- (2) 人権尊重の精神を培い、学びを支える力（人間関係、伝え話し合う力、聴く力）の育成に努める。
- (3) 何事にも自主的・積極的に取り組む態度を育てるとともに、課題を見出し解決していくことができる能力の育成に努める。
- (4) 心身の健康の保持増進と体力の向上を図り、愛校心を持ちながら学校という社会での集団生活の中で、他者と協力して学び続けることができる態度を育てる。

4 めざす子ども像

- (1) 「基礎・基本」を確実に理解した上で、その知識を活用して問題解決を図ることができる子ども
- (2) だれとでも協力して目的を達成できる協調性のある子ども
- (3) 最後までねばり強く取り組もうとする態度と責任感のある子ども
- (4) 心も体もたくましい子ども
- (5) 帰属意識と規範意識の高い子ども

5 本年度の努力事項

A 授業・学校の目標

- (1) 子どもが達成感や充実感を実感し、さらに学びたい、学んだことを活用したいという意欲がわくような授業の創造と学力の向上
- (2) 子どもが命の大切さを実感し、他人を思いやる健全な心の育成
- (3) 子どもが安全への意識や、公共のマナーやルールといった規範意識を持ちそれを実践できる行動力の育成
- (4) 文化の香りのするわくわくするような学校づくり

B 大学附属としての目標

- (1) 幼小中一貫の教育課程研究をさらに検討するとともに、教育課程以外においても他附属学校園との連携の強化に努める。
- (2) 県内外の公立学校や教育機関に研究成果を還元し、またそのフィードバックを得ることによる教育方法の改善や地域の教育レベルの向上に貢献する。
- (3) 研究、教育実習、特別授業などを通して、大学各学部との連携の強化を図る。

C 地域や海外との連携の目標

- (1) 子どもの安全やよりよい生活習慣づくりをめざした家庭や地域との連携の強化
- (2) 英会話学習、留学生との交流等による国際理解教育と、春川教育大学校附設初等学校との交流を通じた国際交流活動の推進